

自由登校化 保護者説明会やアンケートでの話題と回答

12月22日の説明会でいただいた話題や事前アンケートでいただいた話題について整理しました。今後ご意見等がありましたら学校までお問い合わせください。

- Q 子ども同士での登校について、だれに何を相談したらいいかわからない
どのように近所の人に声をかけたらいいかわからない
知らないうちに声をあげるのはハードルが高いので手紙の例文があるとありがたい
- A ペアリングやグルーピングは保護者同士で行うことになります。
お手紙の例文を作成しましたので、必要に応じてご活用ください。
- Q 登校中の子どもの様子で気になることはどうしたらよいか
- A 保護者はよその子のことも相互にしっかり注意する雰囲気になるとよいと思います。
地域で子どもを育てていくことにつながると思います。学校に連絡を入れてくださったら登校後に指導を行わせていただきます。
- Q 町別児童会は今後どうなるか。いっしょに登校する相手を探す時間を学校は確保してくれるか。
- A 町別児童会については、今年度までのように定期的に行うことは、来年度からはなくなると考えています。しかし、今年度末は自由登校への移行期にあたるため、だれかといっしょに登校したいといった思いをもった子どもや保護者のために寄り添える期間をもちたいと考えます。
具体的には、ペアリングやグルーピングを含め、自由登校へ円滑に移行していく準備として1～3月に複数回、町別児童会を実施します。教職員は子どもの登校の仕方がきちんと確保されているかどうか、困り感をもったままになっていないかといったことを、担任と地区担当の両方から把握します。すべての子どもの安全な登下校ができそうか、しっかりと耳を傾けて参ります。
来年度以降は、連絡の必要が出たときに、関係地区や色を集めて臨時の通学会を実施していく予定です。
- Q 登校支援をする上学年のボランティアについて、保護者の思いと児童の思いとにズレができないか
- A まず、登校班長・副班長に代わるものとしての扱いはないことをしっかり説明したいと思います。1人で登校するのは心配な下級生の声に対し、「いっしょに登校してくれる人」「ついていってくれる人」として声をかけます。
本人に「下学年で困っている子と一緒に行ってあげてもいいよ」「連れて行ってあげたい」という思いがあった場合には、保護者の同意を得るように働きかけます。どちらか一方の思いではボランティアには登録されません。

Q 通学路の見直しはあるか。改めて通学路を確認する必要はないか。

A 通学路は学校指定であることに代わりはありません。教員は年に複数回通学路を実際に歩いて確認しています。そのことは今後も変わりません。

3月23日には「万寿の子登下校安全教室」をPTA主催で行います。このときには交通安全と防犯の意識を高めるために、参加する児童や新1年生、その保護者ら全員で通学路点検を行い、危険な箇所の点検を改めて行う予定です。上手にグルーピングをして登校をしている地域の紹介も行われます。多くの方に参加してもらいたいです。

Q 「自由」とすることで、学校の治安が悪くならないか。車での送迎や路上駐車が増えるのではないか。

A 保護者の方のお気持ちの問題です。悪くならないと信じております。

「自由登校」の「自由」に自家用車の送迎は含まれていません。今まで通り、車での来校は、特別の場合を除き、ご遠慮いただきたく思います。参観日等、学校発の来校をご案内する文書にも、常にこの一文は載せています。またこのことは自由登校の説明動画でも、子どもへの説明でも繰り返し伝えさせてもらっています。

学校前の道路への駐停車は子どもが危険な上、交通の迷惑になります。決してなさいませんよう繰り返しお願いいたします。